

(参考様式 5 - 1)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
新田地区活性化計画 目標達成状況報告書

令和 4 年 9 月 20 日作成

| 都道府県名 | 計画主体名 | 地区名 | 計画期間 | 実施期間 |
|----------------|---|------|---------------------------|-----------------------|
| 宮城県 | 登米市 | 新田地区 | 平成 24 年度 ～平成 28 年 度 | 平成 24 年度 ～平成 26 年度 |
| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 | |
| 都市農山漁村総合交流促進施設 | 都市農山漁村総合交流促進施設整備 場内整備工事一式 A=9,989 m ² 体験交流施設 160 m ² ×1 棟、生ハム体 験工房 160 m ² ×1 棟、場内整備一式、 交流体験施設（直売所等）254 m ² | | 農業生産法人(有)伊豆沼 農産 | |
| 受入機能強化施設 | 地域連携販売力強化（販売促進：販 売）施設 1 棟 392 m ² 、機械器具等一 式 地域連携販売力強化（処理加工）施 設 76 m ² 、機械設備等一式 地域連携販売力強化（販売促進：食 材提供用）施設 1 棟 363 m ² 、機械設 備等一式 | | 農業生産法人(有)伊豆沼 農産 登米市 | |

1 目標達成に向けた取組

| | |
|-------------------|---|
| 令和 3 年度実施方 策 | 交流人口の増加を図るため、情報発信については、昨年続き テレビやラジオ、フェイスブックやメールマガジンでの発信はも ちろん、インスタグラムや LINE を活用した情報発信の強化を図 った。また、オンライン体験プログラムを開発し、オンライン上 での交流拡大、コロナ回復後の地域への誘客に繋げることを目指 した。その中で「おうちで手作りウィナーキット」は、じゃ らんニュース自宅で「ご当地体験」ができるお取り寄せランキン グで第 1 位をいただいた。現在は大手企業の福利厚生プログラム 等として利用拡大中。オンライン体験をきっかけに誘客につなげ たい。加工品販売はコロナウィルスの影響により、国内飲食店向 けの卸や OEM 商品の販売が減少した。 |
| 令和 3 年度の目標 と実績 | 【交流人口の増加】 目標値：280,000 人 実績値：87,240 人 【地域産物の販売額の増加】 目標値：798,903 千円 実績値：331,107 千円 |
| 所 見 | コロナ禍で人流等の制限が厳しくなる中、地域への誘客拡大を 目指す取り組みの実施が難しい。コロナの影響が回復後、誘客に 繋がるようオンラインイベントの実施と情報発信を強化してき |

| | |
|--|--|
| | <p>た。未だにコロナ禍の中ではあるが、通販部門の売上は伸びており、中でもオンライン手作り体験は大手企業の福利厚生企画等として多く取り扱われている。</p> <p>コロナ感染状況の変化により、消費場面も短期間で変化している為、その場面にあった新商品の開発が必要となる。</p> |
|--|--|

【記入要領】

- ※ 事後評価時に策定した改善計画を添付すること。
- ※ 目標達成予定年度まで毎年度作成し、毎年9月末日までに報告すること。
- ※ 達成率等算出根拠（参考様式5－1添付資料）を必ず添付すること。